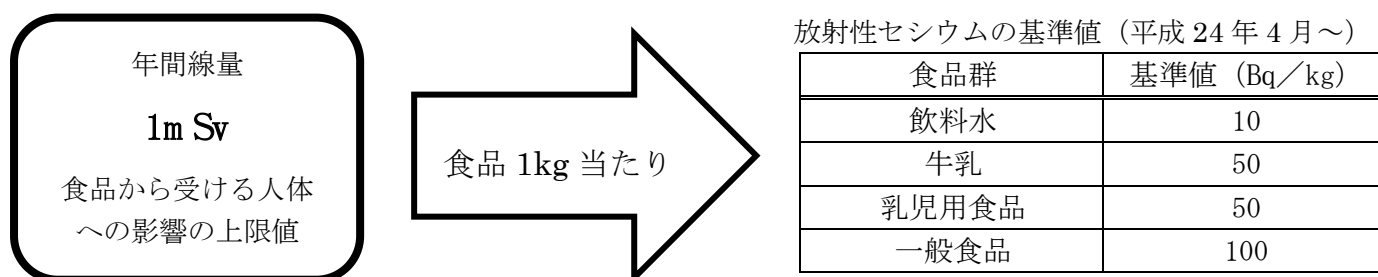


## 震災から 10 年…改めて知ろう！放射能と食品

東日本大震災の際に起きた東京電力福島原子力発電所の放射能漏れ事故から 10 年が経ちました。地元福島県をはじめとする 17 都県では、当時農畜水産物の放射性物質の検査を実施し、検査結果について報道されていましたが、最近ではニュースで放射性物質について報道されることは少なくなってきました。今一度、放射性物質について確認していきましょう。

### ●食品と放射能の関係は？

私たちは昔から自然界からある程度の量の放射線を受けていますが、普段の生活では健康への影響を特段意識することなく生活しています。その一部に、食べ物からの内部被ばくがあります。食べ物に含まれる放射性物質の基準は、コーデックス委員会が年間線量の上限を 1m Sv(1 ミリシーベルト) を指標としていることを踏まえ、年齢や性別の違いによる食品摂取量等を考慮して、基準値上限の放射性物質を含む食品を食べ続けた場合でも、健康に影響を及ぼさない状況を想定して設定しています。また、放射性セシウム以外の核種の影響も考慮して放射性セシウムを代表として基準値を設定しています。



### ●今流通している食品は安全なの？

厚生労働省では流通する食品を購入し、そのままの状態又は加工・調理した後の放射性セシウムを測定し、平均的な食生活をしたときに追加的に受ける年間放射線量を推定しています。あわせて、一般家庭で実際に調理された食事を収集し、含まれる放射性セシウムの濃度を測定し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を推定しています。令和 3 年 6 月に厚生労働省が公表した、市場に流通する食品を対象に行った調査の結果は、食品から受ける人体への影響の上限値とされている 1m Sv の 0.1% 程度でした。

現在、消費者庁では放射能と食品について親子で学べるウェブコンテンツを公開していますのでこの機会に今一度放射能と食品そして福島県に目を向けてみてはいかがでしょうか。



知ろう！考えよう！食べものと放射性物質



【FAX 情報に関するお問い合わせ先】

公益社団法人福岡市食品衛生協会

TEL 092-651-5111

【休日のご案内】

- 土曜日・日曜日・祝日
- 年末年始 (12月29日～1月3日)
- お盆休み (8月13日・14日・15日) 窓口業務を休ませていただきます。

〔HACCP (ハサップ) や検査に関するご相談・お問い合わせ先〕

厚生労働大臣登録検査機関公益財団法人北九州生活科学センター KLSC 福岡事業所

福岡市博多区千代 1-2-4 福岡生活衛生食品会館 4 階

TEL 092-642-1001

FAX 092-642-1002

URL : <http://www.klsc.or.jp/>